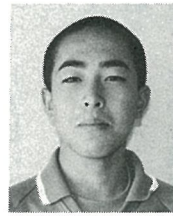


今回の児童・生徒のコーナーでは、光中のお友達の作品を紹介します。
(敬称略)



3年 鞆沢 順一

秋の夜 スズ虫の声 リンリンと
やみの彼方へ ひびきわたる



3年 土屋 淑江

冬近く 夜空は我身を吸い込んで
まばたく星は 心を晴らす



3年 椎名友里子

秋深し 空染まるのも早くなり
からすの家路も早くなりける



3年 土屋まゆみ

部屋のすみ 残り少ないカレンダー
一人それみて なぜか悲しい



3年 越川由美子

この宇宙^{そら}のはてから見える彗星に
一度のチャンスとすばる見つめる



3年 伊藤久美子

一羽二羽百ず集まりて ついばむは
赤きまきの実心なしかな



3年 大木 幸恵

夕焼けが見上げる空を紅く染め
私のほおも紅くなりけり



3年 村越 道栄

さざん花を六十路の祖母の記念樹に
今年も咲けり 庭のかたすみ



3年 草葉香代子

朝

「チュンチュン」
小鳥のさえずりとともに
目が覚める
窓からは

黄金のような朝日
とつても、すがすがしい
朝日を浴びながら

私は起きる
「サラサラサラ」
風が吹く
木の葉達が
体をこすりあう

朝日に反射して
とつても、きれいだ。
音もなくやってくる朝
まるでしのびこむかのように
朝はやってくる……



岳樺黄葉のはざま湖光る

鈴木 つね

惜しみつゝ友送る駅秋深し

椎名 カツ

忘れもの小春の縁に一つあり

伊藤 定男

小春日のしきりとしゃべる九官鳥

伊藤 幸枝

鳥おどし目玉二ツが風に揺れ

大木 静波子

小春日の縁に茶を酌む友も居て

越川 雪枝

血圧を測る老医のちゃんこ

越川 せつ子

小春日や髪染む側に猫も来て

土屋 好

福祉予算細るばかりや雁渡る

椎名 しげる